

平成24年度 第1回京都市保健所運営協議会 摘録

平成24年12月26日(水)
午後2時00分～午後3時30分
ロイヤルホテル&スパ 麗峰

○ 出席者

関係団体代表委員 京都府医師会 : 藤田 克寿 京都府歯科医師会 : 宮本 保幸
京都府薬剤師会 : 茂籠 哲 京都市保健協議会連合会 : 今西 恒子

各保健センター 北 : 欠席 上京 : 杉山 イタル 左京 : 原山 憲治
代表委員 中京 : 濱中 信孝 東山 : 名和 正訓 山科 : 谷川 守正
下京 : 中西 重雄 南 : 宮脇 義隆 右京 : 國枝 恒治
西京 : 赤星 平直 伏見 : 三上 茂文

各保健センター 北 : 西村 由美 上京 : 増永 淳三 左京 : 見原 和雄
健康づくり推進課長 中京 : 佐伯 隆 東山 : 吉山 真紀子 山科 : 植西 則夫
又は担当課長 下京 : 加賀山 廣 南 : 相宗 佳彦 右京 : 西谷 俊廣
西京 : 小谷 きぬえ 伏見 : 河村 典子

<事務局>

保健衛生推進室 土井京都市保健所長, 中田京都市保健所次長, 伊藤担当部長,
土井担当部長, 木村担当部長
保健医療課 山根課長, 中西担当課長, 辻担当課長, 石橋担当課長
福元係長, 石田

○ 議題等

1 京都市保健所運営協議会会長及び副会長の選任

会 長 : 京都府医師会 藤田 克寿 委員
副会長 : 京都府歯科医師会 宮本 保幸 委員

2 京都市保健所運営協議会について

…中西担当課長から資料に沿って説明

谷川委員 : 本協議会は審議会であり15名の委員から成り立っているが, 京都市男女共同
参画推進条例がある中で, 女性委員が15名中1名であることが若干気になる
ため, 一言申し上げる。

藤田会長 : 委員の選定については御配慮いただくよう事務局へお願いします。

3 保健所について

…中西担当課長から資料に沿って説明

谷川委員：資料にある事業については評価、公表をしているのか。

中西課長：本市には「事務事業評価」という制度があり、その評価指標に基づき、毎年一つ一つ点検している。

4 京都市保健所 平成24年度新規充実事業について

…山根課長から資料に沿って説明

名和委員：「母子保健通訳派遣事業の充実」についてだが、予算の内容は人件費が主か。

山根課長：そのとおりである。京都市国際交流協会とYWCAに委託している。

石橋課長：通訳何名に委託というものではなく、京都市国際交流協会に登録されている通訳の方に来ていただいている。24年度4～9月の実績として、国際交流協会が46件、YWCAが6件、その他で1件（委託対象外のスペイン語であったため多文化共生センターに依頼）の派遣があった。

5 事業説明

(1) 京都市保健所における平成24年度夏の節電対策について

…中西担当課長から資料に沿って説明

藤田会長：関西電力からの情報提供は、京都市へどのように入ってくるのか。

中西課長：関西電力主催の会議への出席やHPでの確認により、情報収集を行った。また、本市の防災危機の担当部署へは速やかに情報提供がなされたと聞いている。

(2) 食の安全・安心に関する取組について

…辻担当課長から資料に沿って説明

藤田会長：資料の食中毒事件の件数が少ないように思うが、保健所が把握した件数か。

辻課長：資料の件数は、ノロウイルスによる食中毒により営業停止処分を課した件数である。

藤田会長：ノロウイルスは食中毒か感染症かがわかりにくい、そのあたりは保健所としてどのように対応しているのか。

辻課長：食事に関係なく感染が起こっている可能性もある。本市では現時点で40近い施設からの届出を受けている。届出を受けた際には、まず拡大防止に、そして次に原因究明に努める。食品からの感染であるのかヒトからヒトへの感染であるのかの調査を行うが、多くの場合では、感染源の特定が困難な状況にある。

藤田会長：生レバーで食中毒が起こった場合、罰則はあるのか。

辻課長：食中毒であれば営業停止となる。また、生レバーは提供禁止となっているため、違反すれば処分の対象となる。

○ その他

名和委員：下京保健センターでのホームレスの結核検診における対象者の選定基準を教えてください。

加賀山課長：下京にはホームレスの方の一時保護所があり、入所の受付は福祉事務所が行い、（入所が決まった方に）入所前に結核検診を受けていただいている。
なお、胸部X線撮影を実施しており、喀痰検査は実施していない。

谷川委員：京北ついてはどうか。京北という広大で集落が点在している地域でなんらか取組を実施するのは困難だと思うが、今後も御配慮をよろしくお願ひしたい。

中西課長：もともとの京北町役場のあったところに京北出張所が設置され、そこに保健師がおり、他の京都市民の方と同じような施策を受けていただけるように取り組んでいる。京北は、地域住民の方の団結力が強く、がん検診にも多くの方が受診に来てくださり、受診率が高い状況である。